

## ◎ドンちゃん2

2000年11月に登場した初代の「ドンちゃん2」が、6号機初の“A PROJECT”として、復活します。選べる3種類の「ドンちゃん」と、それに対応する演出は、しっかりと初代を踏襲しており、なつかしさもひとしお。BBの獲得枚数は少ないものの、その遊びやすさで、注目を集めます。

A+RT機。RB中はBB中同様、技術介入により、設定示唆の花火を出現させることが可能。予告音発生時、左リールにBAR・チェリー・BARをビタ押し、中・右リールもBARを狙う。



©UNIVERSAL ENTERTAINMENT

# 液晶演出と出目が見事に融合

本機は、ボーナス+RT機で、コイン単価は約2円。ベースは50枚あたり、約44.4~48.7G。BB確率は1/297.9~264.3、RB確率は1/392~281.3、ボーナス合成確率は1/169.3~136.2。出玉率は97.7~106.4%、技術介入要素を加えたもので、99.2~108.1%となります。

### ■通常時

通常時は、「赤ドン」「青ドン」「緑ドン」の3種類から、一つのキャラクターを選択。

「赤ドン」は、ライバルの田吾作を倒せばボーナス確定となる「格闘技大会」。「青ドン」は、釣りあげる魚が大きいほど、期待度がアップする「深海魚一本釣り」。「緑ドン」は爆弾以外を割れば小役以上が確定となる「スイカ割り」といった、固有演出を用意。

そのほか、共通演出として、打ちあがった花火の種類で、期待度を示す「花火予告」など、初代を踏襲した液晶演出を多数搭載しています。

また、液晶上での演出と出目のバランスが良く、2リール確定や小役はずれなど、約4000通りのリーチ目を堪能することができます。

### ■ボーナス

本機のボーナスは、BBが最高獲得枚数222枚、RBが同104枚です。

BB中は一度だけ、逆押しし、ベルが中段にテンパイした際に、左リールに3連ドンちゃんをビタ押し。その後、順押しフリー打ちで消化するだけで、最高獲得枚数となります。

なお、獲得枚数は変わりませんが、常に逆押しし、左上がり、もしくは上段にベルがテンパイした際に、左リールにBAR・チェリー・BARの上のBARを中段にビタ押しすることで、液晶上に花火が出現。花火には、設定示唆要素があり、設定2以上確定や設定5or6濃厚の花火も存在します。

RB中は、予告音が発生した際、左リールに3連ドンちゃん、もしくはBAR・チェリー・BAR付近を狙うことで、1枚役を回避し、獲得枚数の損を防ぐことができます。

### ■RT

BB終了後に必ず突入するRTは22G固定となっており、純増枚数は約0.3枚/Gです。

RT中のBB当選で、初代「緑ドン」のART中の音楽が流れるほか、BBの4連チャン目、もしくは3連後のRT終了から77G以内のBB当選で、同じく初代のロケットモード（次回まで続く無限ART）中のBGMが流れます。

5号機が残っている現状で、なかなか6号機のノーマルタイプが出てこな

い中での登場となる本機。ベースが高く、RTが付いているので、遊びやすい仕様といえるでしょう。

運用面では、設定示唆に技術介入要素があることに加え、「ハナビ」など、ほかのクロスシリーズにはなかった、総プレイ数やボーナス回数など、さまざまな遊技記録を閲覧できるアプリ「ユニメモ」とも連動。同機の「ユニメモ」では、小役の回数の閲覧が可能のため、ユーザーが設定判別を行いやすいことを念頭に置いて、設定を考える必要があります。

今後、ノーマルタイプを6号機に切り替えていくにあたり、ユーザーへの浸透を図るため、ほかのクロスシリーズの機種と一緒に設置し、低粗利でじっくり育成してみるのもいいでしょう。

### PROFILE

#### ハヤタ君

アテイン所属で、本名は加納謙太郎。SE業界からパチンコ・パチスロ業界へ転職し、8年。ブログ「ハヤログ」、およびTwitter (slomani\_hayata参照) を使い、実践情報や店舗情報などを発信している。同時にパチスロコンサルタントとして、中小ホールを中心に、設定調整、機械選定、島レイアウトといった、営業の提案を行う。